

利賀っ子だより



R4. 6. 22

○ 「あんな声になるかな」

利賀小・中学校は、音楽室を共用しています。今日は、中学生や音楽の先生の歌声が、小学校棟にまでよく響いていました。

その声を聞いていたJさん、「私もあんな声になるかな。」と話しました。「あんな声って？」と聞くと「なんか『オー』ってオペラのような。」「なんだか大人の感じ。」「カッコいい。」と周りの子供たちとまねてみました。

すぐ近くに手本となる、そして、憧れとなる存在があることのよさについてこれまでもお知らせしましたが、今日もそのありがたさを子供たちと確認しました。



【中学生の音楽の時間】

○ 掲示物で指導する



【歯みがきの力のチェックコーナー】

先日から、学級ごとに養護教諭による「歯みがき教室」がありました。歯みがきの際に気を付ける内容が成長の段階によって違うので、学級ごとの指導になっています。

「歯みがき教室」に合わせて、保健室前には、歯ブラシとはかりが置いてありました。

これは、歯みがきの時にどれくらいの力を入れているかを自分で確かめるためのものです。「強くみがきすぎない」と言われてもどのくらいで「強い」なのか分かりにくいのですが、はかりと歯ブラシを準備してあることで、自分の力の加減が数字として見えるようになっています。

早速、試し、「強すぎだった。」という子供がほとんどでした。掲示物の効果抜群でした。伝えたいことをどのように伝えるかを考えさせられた掲示物でした。

○ 体全体で学習

右は、中学年の外国語活動の時間の様子です。

この時は、英語の歌を身振りを付けて歌っていました。動画を見ながらALTや英語専科の先生の発音を聴き、体でも表現するという体全体を使った学習を繰り返し楽しんでいました。子供たちは、次々と歌いたい曲のリクエストをしていました。

楽しい雰囲気とできるという実感が、新しい言語の獲得へのさらなる意欲を高めていることを感じました。



【英語で歌えるよ】

(高田 公美)